

叶えるために、飛ぶ。
SmartDrone

貴社限り

Skydio製品(米国製)のご紹介

目次

1. Skydio X10(最新型AI搭載ドローン)
2. Skydio 2+(小型ドローン) 在庫限り
3. Skydio Dock for X10(自動充電ポート付きドローンポート)

Skydio X10

(最新型AI搭載ドローン)

点検・監視・災害対応における切り札



エッジAI



サーマルカメラ



暗所自律飛行



3Dモデル構築



4G LTE/5G対応



Skydio X10 の主な特徴

貴社限り

新機能によりさらに幅広い業務に対応可能です。

① 従来機種の10倍の
AI処理能力・非GPS飛行



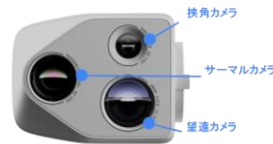
② 選べる2つの
高性能カメラ

③ 夜間、悪天候
でも飛行可能

① 従来機種より約10倍のAI処理能力 非GPS環境で飛行可能

- Skydio2+との比較。
- プロセッサーNVIDIA Jetson Orin SoCを搭載

② 2種類から選べる進化したカメラ



ズーム撮影が可能な
VT300-Z



広角撮影が可能な
VT300-L

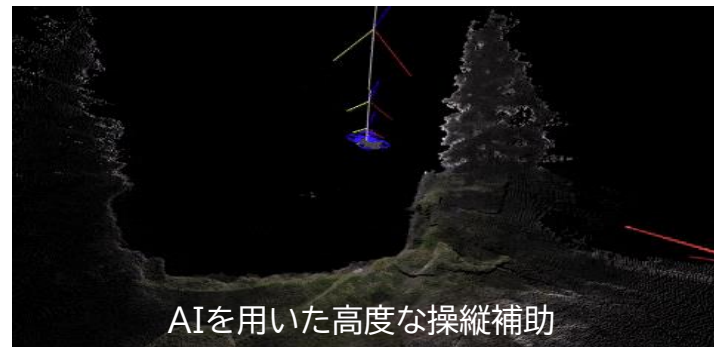
③ 夜間・悪天候でも飛行可能

- IP55等級(雨天飛行時はGPSのみ)
- 動作温度範囲:-20℃～45℃
- 夜間飛行が可能なライトあり(オプション)

① AI自律飛行

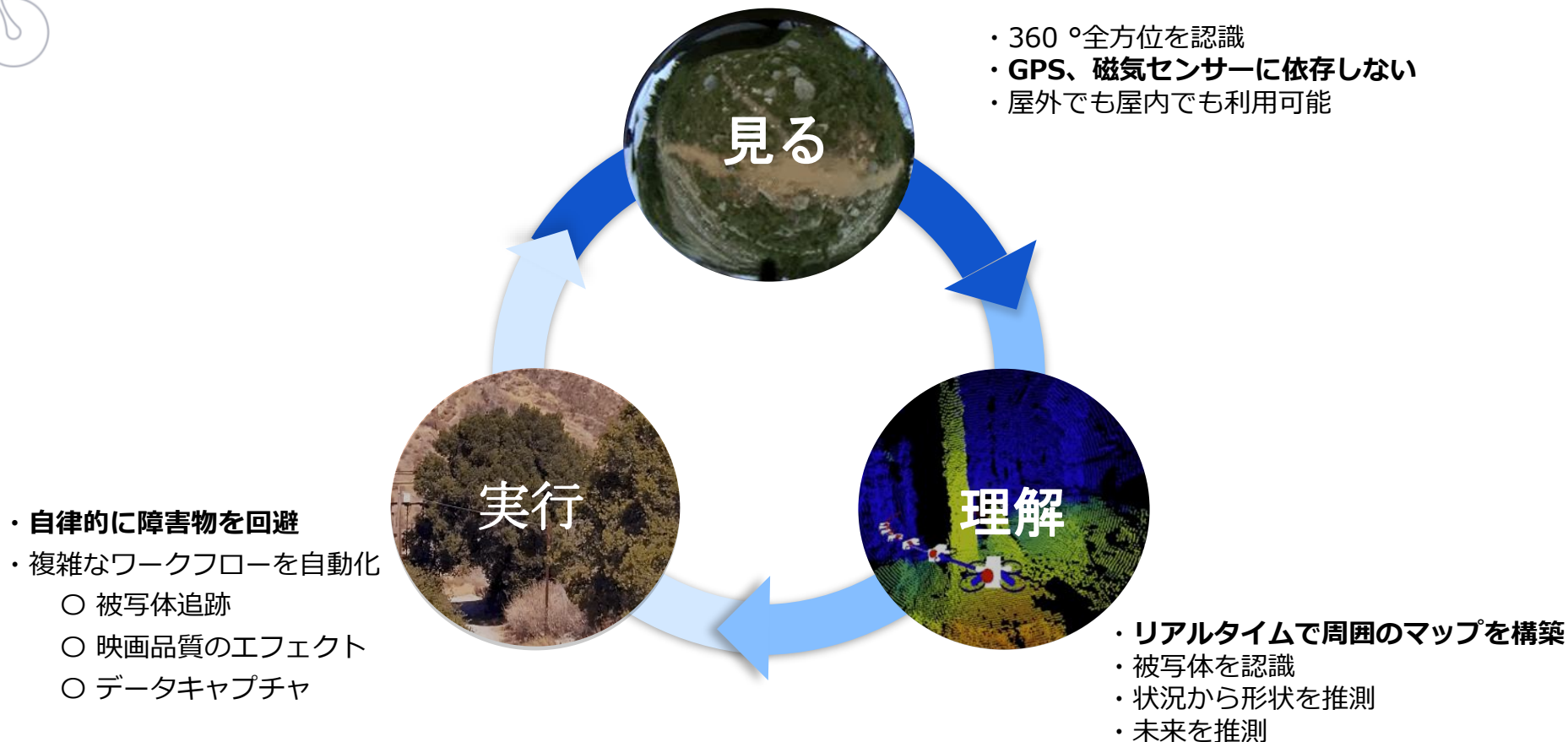
貴社限り

Skydio Autonomyにより、点検・監視ユースの高度な作業を実現
フライヤー育成時間を短縮し、スピーディーな現場での活用を実現



① AI自律飛行

貴社限り



② 2種類から選べるカメラ

用途に合わせた2種類の異なるカメラから選択が可能



① VT300-Z

可視光カメラ

46 mm eq.
64 MP
f/1.8
視野50°

望遠カメラ

190 mm eq.
48 MP
f/2.2
視野13°

サーマルカメラ

60 mm eq.
640 x 512 ピクセル
視野41°
感度30 mK未満



② VT300-L

可視光カメラ

46 mm eq.
64 MP
f/1.8
視野50°

1" 広角ズームカメラ

20 mm eq.
50 MP
f/1.95
視野93°

サーマルカメラ

60 mm eq.
640 x 512 ピクセル
視野41°
感度30 mK未満

フラッシュライト

最大2800ルーメン

② 2種類から選べるカメラ(Zカメラ)

現場の見える化を実現する高性能望遠カメラ
超高解像度の監視・点検を実現、さらに用途に応じたカスタムが可能

強力なズーム機能を実現する
望遠カメラ

マッピングおよび低照度検査用の
広角撮影カメラ

対象物の絶対温度を確認可能
サーマルカメラ



VT300-Z



② 2種類から選べるカメラ(Lカメラ)

現場の見える化を実現する高性能カメラ
超高解像度の監視・点検を実現、さらに用途に応じたカスタムが可能

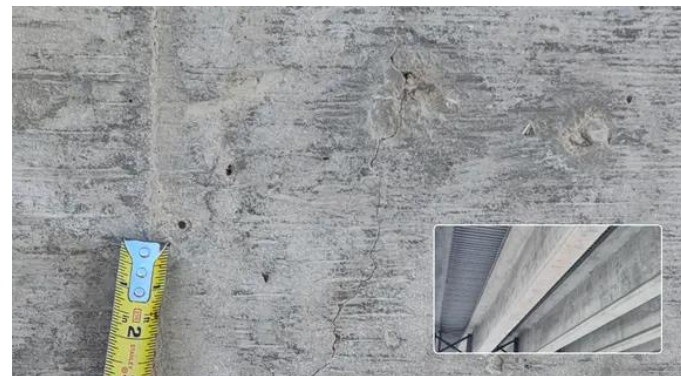
強力なズーム機能を実現する
望遠カメラ

マッピングおよび低照度検査用の
広角撮影カメラ

対象物の絶対温度を確認可能
サーマルカメラ



VT300-L



② サーマルカメラでの絶対温度表示(Z・L両機搭載)

現場の見える化を実現する絶対温度計測可能な高性能カメラ

最も先進的なサーマルカメラFLIR Boson+により超高解像度の監視・点検を実現、さらに用途に応じたパレット選択が可能

強力なズーム機能を実現する
望遠カメラ

マッピングおよび低照度検査用の
広角撮影カメラ

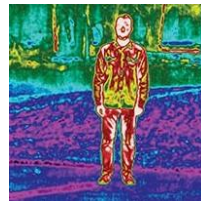
対象物の絶対温度を確認可能
サーマルカメラ



ホワイトホット
都市環境



ブラックホット
ホワイトホット反転



レインボー
詳細な熱差感知



アイロンボー
熱分布と熱異常表示

③ 夜間でも飛行可能 - ナイトセンス

【通常商品】ナイトセンス(Visible Light)

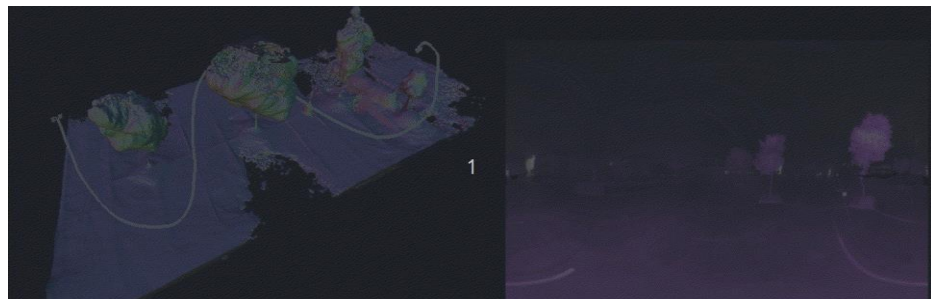
- ライトを灯火することにより暗闇の中でも飛行可能です
- ご利用には別途ナイトセンス用のソフトウェア・機器購入が必要です



ナイトセンス(ビジブル)での飛行

【個別相談】ナイトセンス(IR)

- 自律性のゴールドスタンダードであるコンピュータービジョンベースの夜間ナビゲーションにより、24時間で自律ミッションを飛行可能
360度の認識により飛行中にインテリジェントな意思決定を下します
- 可視光または赤外線照射器を使用すると、完全な暗闇でも問題なく移動できます
- ご利用には別途ナイトセンス用のソフトウェア・機器購入が必要です



ナイトセンス(IR)での飛行

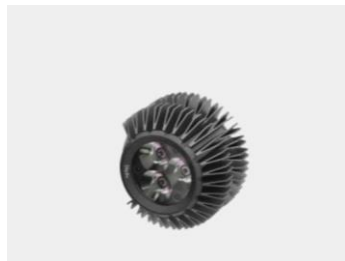
ニーズに合わせてカスタマイズ可能

ニーズに合わせてカスタマイズ可能、オープンなモジュール式プラットフォーム



【オプション】Skydio X10 のアタッチメント

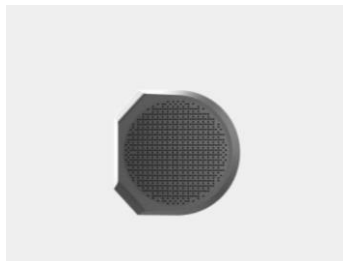
貴社限り



スポットライト

※機体の左右に取付

夜間使用時の
視認性を向上



スピーカー

※機体の左右に取付

リスクの高い状況で
より適切なコミュニ
ケーションを実現



ナイトセンス

※機体の上下に取付

業界初！暗闇での
自律飛行が可能
可視光または赤外線



RTK

性格なナビゲーション
マッピング、データ
収集提供



AVSS パラシュート

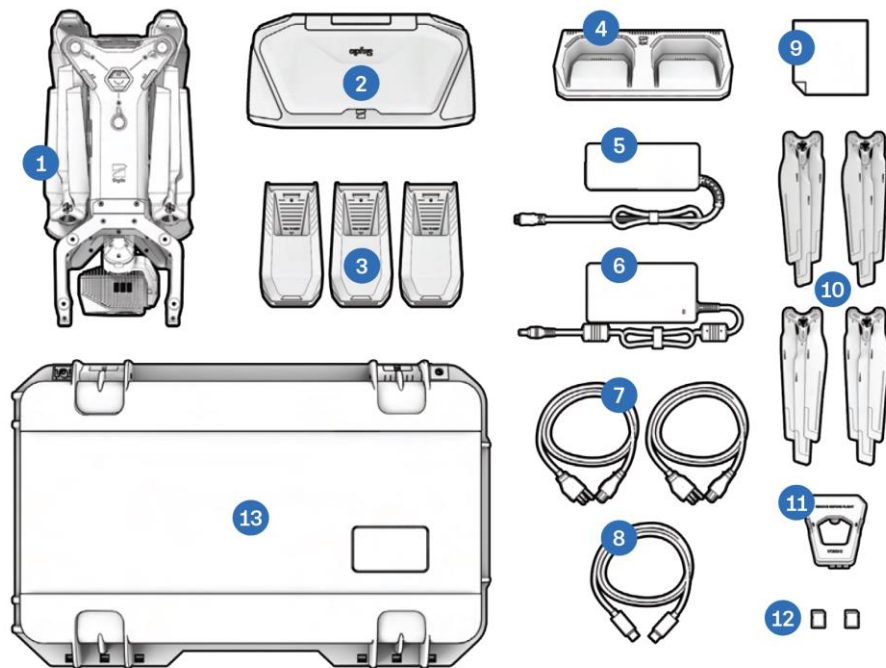
群衆や車道上の、より
安全な飛行を可能に

販売中

今後販売予定

Skydio X10 Starter Kitについて

コントローラーや追加バッテリー、多めの予備プロペラなど、
耐久性のあるケースに格納されたセット内容



同梱物:

1. SkydioX10本体×1台
2. SkydioX10専用コントローラー×1個
3. バッテリー×3本
4. デュアルチャージャー(バッテリー充電器)
5. 100 W USB-C power supply
6. 230 W fast power supply
7. ケーブル×2本
8. USB-C to USB-C ペアリングケーブル×1
9. マイクロファイバー×1枚
10. 予備プロペラ× 3枚 ×4セット×1
11. ジンバルロック
12. 256GB MicroSDカード×2枚
13. ハードケース×1個

Skydio X10 × 上空電波(4G LTE)

飛距離や干渉物を
気にせず使える

SIMを差し込むと..

機体

- ①自動飛行ができる
- ②遠隔(目視外)/複数拠点でリアルタイム確認や操作ができる

アプリ

ブラウザ

運航管理
システム

上空専用SIM

地上専用SIM

SIMを差し込むと.. プロポ・タブレット

モバイル通信

Skydio X10 × 上空電波(4G LTE)

上空電波(4G LTE)で目視外飛行を加速

飛行エリア・環境にとらわれず 目的に応じた飛行が可能に

今まで



飛距離を伸ばせない・・

Wi-Fiがよく途切れる・・

人が移動しなければならない・・

撮影した映像は後で送るしかない・・

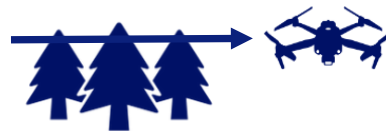
フライヤー育成が長期化する・・

これから

広範囲を飛ばせる



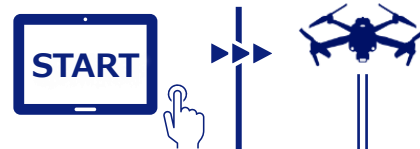
干渉物を超えられる



リアルタイム配信ができる



遠隔自律飛行ができる



Skydio X10 × 上空電波(4G LTE)

貴社限り

Skydio X10の機能と上空電波利用により広がるユースケース



KDDIスマートドローン 独自のサポートサービス

Skydio あんしんサポート

モバイル通信対応

上空電波
パッケージ

高品質の講習

Skydio
認定講習

安心の保守対応

あんしん
機体補償

Skydio X10 関連動画をYouTubeチャンネルに掲載

貴社限り



<https://www.youtube.com/@kddismartdrone>

SkydioX10 ズームカメラ、サーマルカメラ動画	https://youtu.be/iJVwsBNea3A
SkydioX10により広がるユースケース	https://youtu.be/uYxLW8B9T-Y
ナイトセンスを活用した橋梁点検	https://youtu.be/NKEpyssyia4
ナイトセンスを活用した橋梁点検 東京都大田区	https://youtu.be/MDVGKvlrWXg
SkydioX10ナイトセンスを活用したトンネル点検	https://youtu.be/xzsWplQGwqI
上空電波(4G LTE)を活用した飛行	https://youtu.be/mznxfwkipfY
遠隔で行方不明者捜索や事故時の初動対応 石川県	https://youtu.be/bYA-l3WVFWA
ドローンを活用した水路トンネル点検実証	https://youtu.be/lmlE8ZpUx8M

Skydio 2+

(小型ドローン)

在庫限り

全方位を認識して障害物を回避しながら飛行可能な自律飛行型ドローン。
橋梁の下や室内などGPSが届かない環境や電波塔などの磁界環境でも安全かつ確実な飛行を実現。



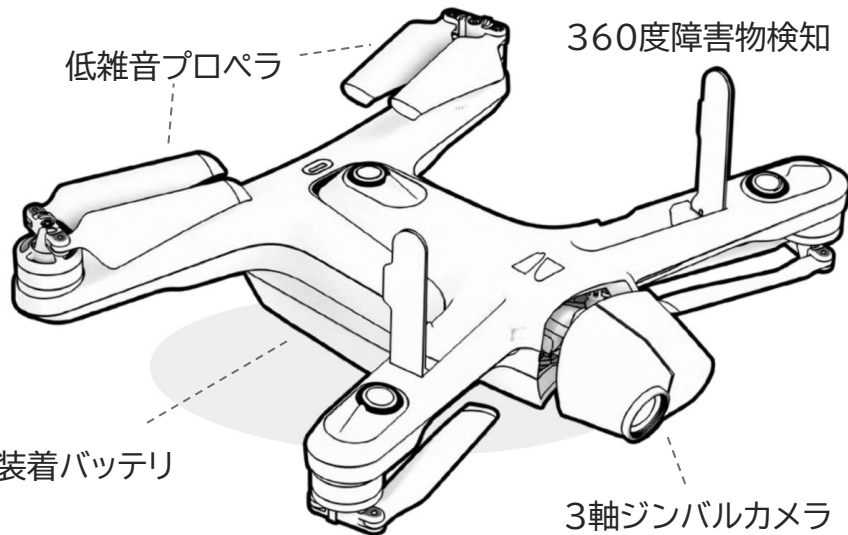
ジンバルが
垂直上下90°まで撮影可能



飛行速度: 57km/時
16m/秒

低雑音プロペラ

360度障害物検知



磁石装着バッテリー

3軸ジンバルカメラ

用途	点検・監視
大きさ	229 × 274 × 126 mm ※バッテリー込、アンテナ起立時
飛行時間	23分間
機体重量	800g ※バッテリー込

Skydio Autonomy™の特徴

Skydio社ドローンに搭載される、Skydio Autonomy™では、様々な自律飛行が可能です。これらの自律飛行では、ドローン機体に搭載されている6つのカメラにより周囲360°を認識し、障害物を自律的に回避します。

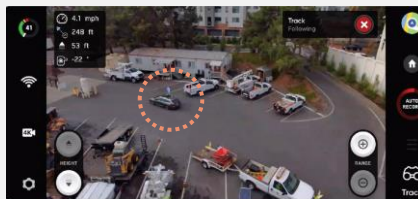
360° Superzoom™



ズームアウトして周囲を360°ライブビューで見ることができます。

デジタルズーム活用して、究極の状況把握ができます。

Track In Place(トラック イン プレース)



アイコンを選択し、被写体にロックオンします。

ドローンは適切な位置でホバリングし、カメラを回転させたり傾けたりして、被写体を視認しながら撮影できます。

Visual Return-to-Home (ヴィジュアル リターン トゥ ホーム)



GPSが使えない環境でも、カメラビジョンによる映像を用いて、障害物を回避しながら離陸ポイントまで安全に帰還することができます。

Way Point Skill(ウェイ ポイント スキル)



マルチウェイポイントGPSミッションを設計し飛行することができます。

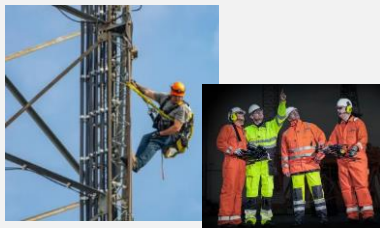
Skydio 2+ は、AIを活用した経路計画アルゴリズムにより、障害物を回避しながら飛行します。

※ご紹介している機能はSkydio Autonomy™の一部です

Skydio 3D Scan™の特徴（オプション）

構造物を自動認識し、自律的に撮影しながら飛行することができる機能です。
上下6つのレンズが取得した360°データをもとに、障害物を回避しながら 複雑な構造物、屋根、ソーラーパネルなどを撮影できます。

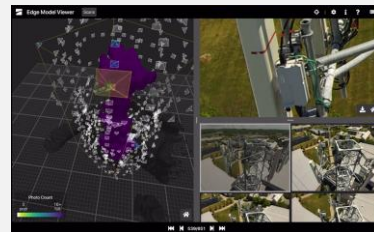
人力での点検業務の危険、手間を回避できます



点検業務は高所に上ったり、安全対策の実施など、多くの手間と危険が伴います。

自律飛行なら障害物回避など不要となりパイロット育成が最小限で済みます。

ソフトウェア側で自律的に撮影します



3Dデータ作成に必要な画像を得るため、ソフトウェア側にて自動的に撮影ポジションを決定し、自律飛行しながら近接撮影を行います。

シンプルな操作でご利用可能です



撮影対象の高さと面の指定、ラップ率を設定するなど、シンプルな操作により3D Scan™を利用することができます。

画像処理ソフトウェアを用いて、3Dモデルを作成できます



3D Scanの写真測量互換性により、主要なサードパーティ製ソフトウェア(DJI Terra、Pix 4D等)を使用することで、3Dモデルを作成し、高品質のスキャン写真を作成できます。

Skydio 2+ Enterprise Kitについて

在庫限り

貴社限り

コントローラーや追加バッテリー、多めの予備プロペラなどが揃っており、業務用で使い倒していただくためのセット内容。耐久性のあるケースに格納。

※別途、Autonomy Enterpriseライセンス、およびMaintenance & Support 3年版が、同時ご購入必須です。



日本向け追加付属品：
・マイクロファイバークロス
・SDカード+ 1枚

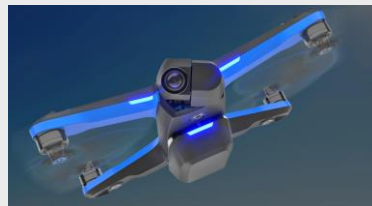
■ 同梱物：

1. ハードケース×1個
2. Skydio 2+ 本体×1台
3. コントローラー×1台
4. バッテリー×3本
5. バッテリー用充電器×1台
6. 充電用アダプタ×1個
7. 充電用USBケーブル(TypeC-TypeC)×1本
8. コントローラ接続用USBケーブル×1本
9. 256GB MicroSDカード(機体内蔵)×2枚
10. ND(減光)フィルター×1セット
11. 予備プロペラ×4枚

Skydio商品構成

ハードウェア

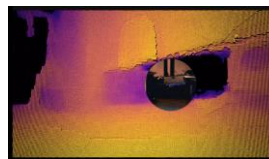
非GPS環境下(屋内、橋梁下など)で安定して飛行が可能な技術(vSLAM)を搭載した機体



Skydio2+ (S2)

- ・小型、屋内向け
- ・元々はコンシューマモデル

ソフトウェアライセンス およびサポート等

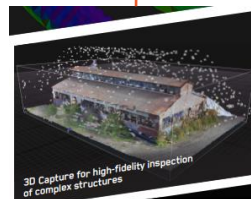


① Skydio Autonomy Enterprise Foundationライセンス(永年)

- ・1mの対象物近接飛行や、直上/直下にカメラを向ける機能など、点検や監視用途で必要とされる機能のライセンス

② Skydio Autonomy Enterprise for S2 maintenance (3年間)

- ・操作アプリおよび機体ファームウェアの更新があった際、有効期間内は更新の適用が可能となる(当初3年)



③ オプション)3D Scanライセンス

- ・自動飛行で対象物を立体的に撮影
- ・3Dモデルや各視点の写真を出力可能
- ・点検などの用途

Skydio Dock for X10

(自動充電ポート付きドローン)



Dockの特徴

① 自動充電による完全自動化運用

自動飛行後、充電も自動で行われるため、継続的なフライトが可能
離陸までの所要時間: 20秒

② 遠隔操作および映像のリアルタイム配信

飛行中の映像はSkydio Cloud上でリアルタイムで配信される
自動飛行中に遠隔地から途中介入によって遠隔操作が可能

③ 取得データのクラウドへの自動アップロード

取得したデータは着陸後、クラウドへ自動でアップロードされる



Dockの特徴

④耐風性能と保護等級(防塵・防水)の向上

離発着時の耐風性能が12m/s

防塵・防水性能 ルーフオープン時:IP54

ルーフクローズ時:IP56

⑤アタッチメントによる用途拡大

スピーカー・スポットライト・NightSense・RTKの搭載可能

監視や夜間での飛行といった場面で効果を発揮

⑥インテリジェンス機能搭載

AIによるインテリジェンス検知により、自動的に車両や人を識別

赤外線で異常な温度を検出可能

Skydio Dock for X10の製品仕様

貴社限り



総重量	109kg(240ポンド)※機体を除く
サイズ	86.6cm(L)×95.7cm(W)×140.9cm(H)
入力電圧	100～240 V (AC) 50/60 Hz
動作温度	-20℃～50℃
防塵防水性能	ルーフオープン時:IP54 ルーフクローズ時:IP56
離陸までの所要時間	20秒
充電時間	35分 (気温25度で、15%から95%までの時間)
搭載ストレージ	512GB ※取り外し不可
入出力	2x POE RJ45(30W、48V) 1x USB3.0(5W、5V)

Skydio Dock for X10の提供価値

貴社限り

自動充電付き離発着ポート(Dock)は人がオペレーションする内容を極小化でき
ドローンユースケース拡大の重要なドライバーとなる

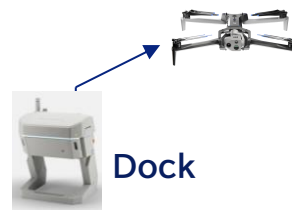
① オペレーションシステムから飛行指示を実施



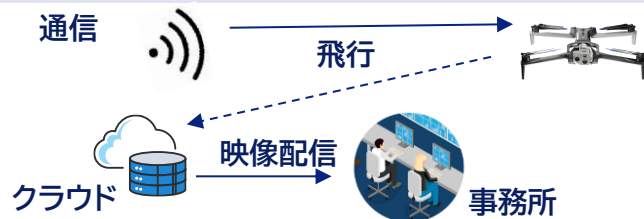
オペレーションシステム

② インターネット回線を通じて飛行開始指示が送られ、自動でドローンポートが開き、離陸

通信

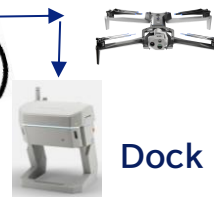


③ 各種通信を通じてドローンが自動飛行、撮影映像を自動配信



④ 業務完了すると自動でドローンポートが開きドローンが着陸・格納。撮像アップロード及び充電開始。

通信



ドローンを遠隔から操縦・管理するためのクラウドサービスです。上下6つのレンズが取得した360°データをもとに、障害物を回避しながら 複雑な構造物、屋根、ソーラーパネルなどを撮影できます。

Skydio Steaming(映像共有)



ブラウザーまたはモバイルデバイスからのリアルタイム撮影データ伝送

- リアルタイムに現場状況を組織全体で共有
- エンタープライズコントローラーやモバイルエンタープライズ等複数の接続オプション

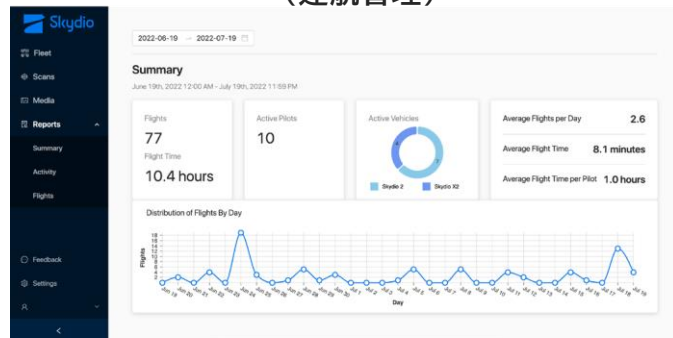
Skydio RemoteOPS(遠隔操作)



Skydio Autonomy™ を活用した画期的なりモート操作機能

- あらゆるブラウザーまたはモバイルデバイスでのリアルタイムな可視性
- 障害物回避機能により、屋内と屋外での遠隔飛行

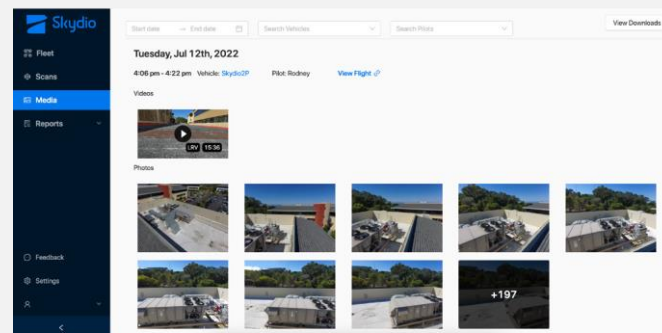
Skydio Fleet management (運航管理)



接続されたドローン運用の完全な管理

- ・ 拡張性のある運航管理, テレメトリー手動の運用
- ・ 現場から収集されたライブフライトと使用状況の測定
- ・ クラウドダッシュボードとAPIによるフライトデータへのアクセス

Skydio Media Sync(データ管理)



フライトデータの自動アップロードと管理

- ・ Wifiまたはイーサネット経由でドローン撮影データを自動アップロード
- ・ 着陸後の電源接続する際に撮影データをアップロード
- ・ 組織全体で撮影データを管理、検索、共有を可能にします

Skydio Dock for X10(導入フロー例)

貴社限り

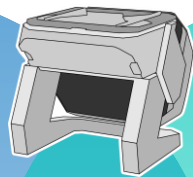
Skydio Dockを活用した貴社ご要望の実現にむけサポート体制を充実させていただいております。

	実施事項	目的	次ステップへの検討事項	弊社サービス例
STEP1	・Skydio Dockによる飛行検証(実証)	・ドローンで取得できる情報の内容・精度の把握	・費用対効果の検討 ・撮影課題の対策実施	環境アセスメント 実証対応
STEP2	・Skydio Dockによる点検代替	・人での点検の代替開始 ・効率的な飛行ルート設定 ・撮影画像の蓄積	・撮像データ確認の時間短縮検討 ・別拠点への転用検討	
STEP3	・API接続による自社システムやAIによる判定の	・正常異常判断の早期化 ・判断基準のデジタル化	・実施内容、技術状況により検討	機器提供 運用支援 システム開発

Skydio Dockを活用したフェーズフリー業務の実現へ

貴社限り

平時においてパトロールや夜間警備等のサービスを提供
有事においては、配備したドローンにより災害状況の一次確認や搜索活動を迅速化



遠隔制御・
ドローンポートにより
現場へ急行

平時



海岸線パトロール



施設巡回



夜間警備



見守りサービス

有事



災害状況の一次確認



救助者の搜索活動



事故時の一次確認



搭載スピーカーを活用した
被災エリアへの情報共有

Skydio Dock for X10 × Starlink

これまでモバイル通信の提供が困難とされていた山間部や島しょ地域においても、モバイル通信に対応したドローンの提供が可能になりました。場所を選ばずSkydioの飛行を可能にします。

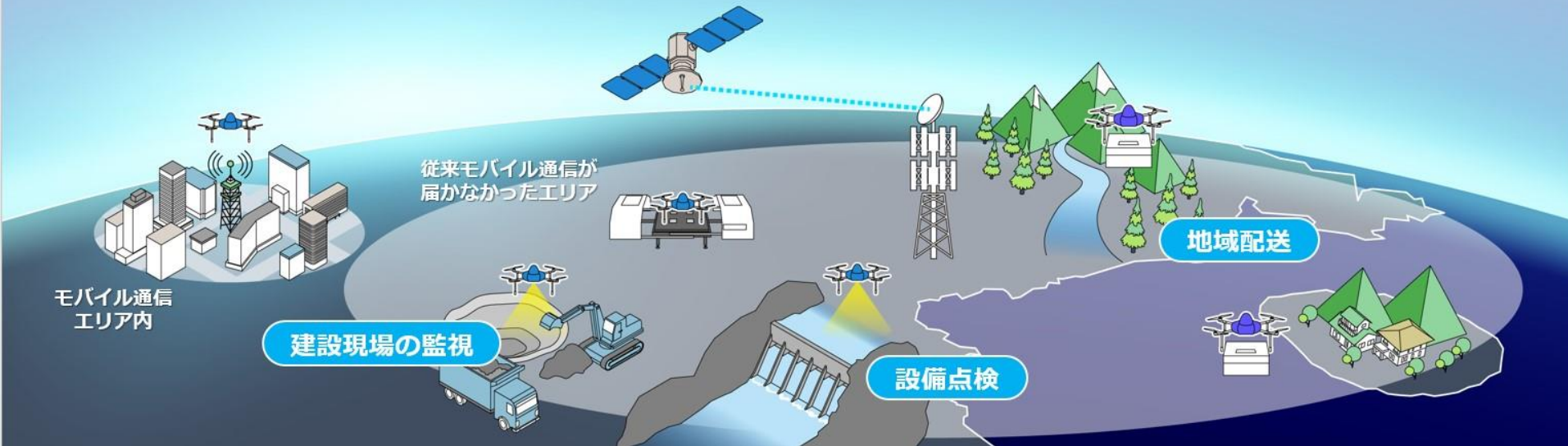
Starlink

衛星通信を利用したau基地局サービス



スマートドローン

モバイル通信を介した遠隔自律飛行を実現



遠隔運航サービスのご紹介

貴社限り

ドローンの所有から、日々の飛行、撮影データの管理まで、ドローン運用の手間をすべてプロにお任せ。必要な撮影データだけを取得可能な、包括委託サービスです

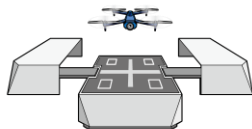
ドローンポートの利用にあたって必要な作業…

Dockと
ドローン
の購入

運航者の
手配

運航者の
教育

Dockの
設置



日々の
ドローン
の運航

ドローン
の
飛行申請

飛行ルー
トの作成

定期的な
メンテナ
ンス

全てKDDIスマートドローンに
お任せください

詳しくは遠隔運航サービス特設サイトをチェック！
<https://kddi.smartdrone.co.jp/solution/monitor/>

お問い合わせ項目	お問い合わせ先URL
ドローンのPoC・導入支援	https://kddi.smartdrone.co.jp/contact-list/contact/
機体購入	https://kddi.smartdrone.co.jp/contact-list/airframe-contact/
上空電波パッケージ(4G LTE)	https://kddi.smartdrone.co.jp/contact-list/4g-lte/
ドローンスクール (KDDIスマートドローンアカデミー)	https://kddi.smartdrone.co.jp/contact-list/academy-contact/
KDDIスマートドローンパートナーズ	https://kddi.smartdrone.co.jp/contact-list/contact/
ドローンショー	https://kddi.smartdrone.co.jp/contact-list/contact/
取材依頼など	https://kddi.smartdrone.co.jp/contact-list/contact/



空は、もっと近いはずだ。
人と技術で、社会の新しい当たり前を創る。

